

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	穎娃おこそ会
役職	
氏名	原本太郎
着任日	令和3年4月1日

活動月	令和3年12月（着任9ヶ月）
主な活動	1. 番所鼻公園でのイベントの開催 2. 瀬平地区景観ワークショップへの参加 3. ワークショップへの参加

1. 番所鼻公園でのイベントの開催

11月はファーマーズマーケット「アグリビッツ」の3回目を12月12日（日）に、キッチンカーイベント「絶景ごはん」の6回目を12月26日（日）に開催しました！絶景ごはんは雪も散らつく厳しい寒さの中での開催となり、お客さんの客足も少ない状況でした。そのような中で出店していただけるような状況に感謝しながら、寒い時期の企画や発信を充実していく必要があると強く感じました。今後は、冬期や雨天時の有効活用を見据えながら、公園の多様な使い方を実験・検証していきたいと考えています。

公園でのイベント等の詳細については、SNS等で発信していきます。



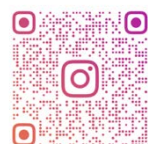
Instagram▶
@agribits_farmersmarket



【SNS】

Facebook ▶「番所鼻自然公園」

Instagram ▶@Bandokorobana_Park



BANDOKOROBANA.PARK

2. 番所鼻公園の森（保安林）の活動

以前、地元のメンバーと一緒に整地した森の園路に、ウッドチップの舗装を敷き、空間が開いてしまっているところに植樹を行いました。今回は、大川福社会の園児・学童生と一緒に作業を行い、大人たちは子どもたちのサポートをしました。作業後はおにぎりと豚汁を食べ、子どもも大人も楽しい時間を過ごすことができました。

今後は子どもたちがもっと遊びに来れたり、関わったり、思い出を作っていける公園としていきたいと感じました。森の活動については、NPO 森と木の研究所さんと協働で、今後は防風垣やデッキベンチの設置を予定しています。



3. ワークショップへの参加

今月は市で進める瀬平地区の景観ワークショップと、錦江町のツリーハウスづくりワークショップに参加しました。瀬平地区では番所鼻にも負けず劣らず素晴らしい景観があると改めて実感したとともに、地元の方の想いに触れることができました。公園に関わる地元住民や事業者は番所鼻とは異なりますが、いかに公園という場を活用しながら、その土地性に合わせてコミュニティや地域内の関係性を築いていくことが大事であると実感しました。



地域おこし協力隊活動報告書

また、今後の番所鼻公園の参考とするため、錦江町でのツリーハウスづくりのワークショップにも参加しました。錦江町では、協力隊を中心に、あまり使われない海岸に近い公園の活用方法として、小学校の子供たちに求める施設や使い方をアンケートを行い、その結果ツリーハウスを園内につくることとなりました。ツリーハウスをつくる過程でも、子供たちがどんなイメージにしたいか、実際に手を動かしてもらいながら、1年掛けてゆっくりとつくっていました。つくる過程で、外部のツリーハウス専門家や地域の林業関係者などにも参画してもらった形で、木や木材の特性や建築的な意味合いなどもしっかりと分かりやすく話しながら、何より楽しみながら作っていくプロセスが印象的でした。

番所鼻でも何かをつくっていくプロセスをもっと大事にしていきたいと強く感じました。

